

えべつアローチャート勉強会 with CAP (第28回)

アローチャート+CAP ～「ADL」で事例を共有する～



参加費
300円

【助言者】

キタライフー北のくらしと地域ケア研究所

鈴木 眞弓 先生

医療法人社団 静和会

長尾 俊 先生

日時

平成30年**10月25日(木)**
18:30~20:30

場所

江別市総合社会福祉センター
(江別市社会福祉協議会)
会議室**3号**

定員

15名程度

参加要件はありません。
興味がある人は大歓迎です。
当日、会場費、助言者の交通費として
参加費300円をいただきます。
下記のQRコードかLINE、
メールでお申し込みください。



<問い合わせ先>

アローチャート研究会 小林洋貴

TEL:050-5276-2889

E-Mail:ebetsu.ac.workshop@gmail.com

アローチャートとは？

アローチャートは、対人援助職の皆さんが普段行っているアセスメントにおいて、収集した情報の分析過程を見える化していく手法です。

ニーズ・長期目標・短期目標のつながりが、わかり易くなり、ケアプランの第2表や介護予防サービス・支援計画書の作成がスムーズに行えるなど、実践的な活用が可能です。

CAPとは？

「CAP (Clinical Assessment Protocol : ケア指針)」を使う目的の一つは、CAPガイドラインに書かれた情報を用いて利用者の強みと選択とニーズを含んだ包括的アセスメントによるケアプランを作成することにあります。

国際的アセスメントツールの一つであるインターライ方式にまとめられた要支援・要介護者に起こりやすい27の項目は、居宅・施設・高齢者住宅等に対応しています。

CAPを活用することで、利用者の問題状況を客観的に分析し、ケアの指針を得ることが可能になります。

勉強会用のLINE
アカウントです。
友達登録
お願いします。



【 助言者プロフィール 】

鈴木 眞弓 先生



キタライフ（北のくらしと地域ケア研究所）代表
看護師・保健師・介護支援専門員

=====

保健師などという資格だけではただの石ころと同じ。
「自己研鑽する姿勢」「人間関係を構築する感性」「新たな情報
をキャッチするアンテナ」をキーワードとして自分に磨きをかけて
います。

原石がキラキラ輝く宝石になれるように。
スキー場の急斜面で滑り出しを悩む人であふれる中、真っ先に
滑りたいのが私です。

『勇気あるペンぎん』をめざしています。』

※キタライフHPより

=====

ケアプラン指導研修会各種・ICFの視点からみたケアプランの作
成について などの研修で講師を務める。

北海道CAPを読む会主催者

長尾 俊 先生

医療法人社団静和会
介護老人保健施設エル・クオーレ平和 理学療法士
江別地域ケア連絡会 企画調整幹事
理学療法士・介護支援専門員

=====

『平成2年4月に理学療法士（Physical Therapist :
PT）としてデビュー。

まだまだ臨床経験の浅い平成5年頃から訪問リハビリテーショ
ンや地域の保健師さんと家庭訪問に従事するようになり、思
い悩んで平成10年からケアマネジメントの学習と実践を始め
て現在に至ります。

長年、人の暮らしに繋がるリハビリテーションを志しています。
ちなみにPTの「P」は物理学（physics）「T」は治療法
（therapy）なので「物理的な手段を用いて治療する人」
という意味ですので、そんな目で見てやって下さい。

「物理は苦手」というPTは・・・怪しいかも？』

=====

北海道CAPを読む会助言者

